

第60期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで





株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第60期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における概況をご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともご理解とより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 大澤 功

第60期上期業績について

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、所得環境が継続して改善され個人消費も持ち直しているものの、輸出の伸び悩みなどがあり、景気に足踏み感が出ております。海外においては、米国は製造業を中心に減速感が強まっており、中国も景気停滞が継続し、全体として世界経済で不透明感が高まっております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においては、世界経済に対する先行き懸念から市場の減速感が強まっているものの、一方で電装化が進展しております。

当社グループは、車載向けの販売が増加したものの、通信関連機器やアミューズメント等の販売が減少し、当第2四半

期連結累計期間における連結売上高は429億81百万円(前年同期比4.0%の減収)となりました。

利益面につきましては、売上高の減少および国内生産工場の稼働率低下の影響などにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は7億15百万円(前年同期比60.0%の減益)となりました。また、営業利益の減少に伴い、経常利益は7億79百万円(前年同期比56.8%の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億87百万円(前年同期比75.7%の減益)となりました。



今後の見通しについて

当社グループが主力とする車載向けプリント配線板市場においては、世界経済に対する不透明感から市場の減速感が強まっており自動車生産が下振れる厳しい中で、「コネクティッド化」「自動運転化」「電動化」等「CASE」の新しい潮流による構造的な変化を背景に、電装化進展による需要が拡大すると見込まれます。

当社グループは、2019年5月に策定した中期経営計画2019(2019年度～2021年度)における『当社の強みを活かせる車載市場を主軸とした高付加価値分野に注力し、収益性と資本効率を高める』という経営方針に基づき、今後も成長

が見込まれる車載向けプリント配線板市場のなかでも、特に高い品質と信頼性が要求されるエンジンやブレーキ、予防安全装置等が含まれるパワートレイン・走行安全系の分野を柱として成長を図ってまいります。

また、収益性強化については自動化、生産性向上投資を継続的に実施するとともに、各業務プロセスの構造改革の実施、企業品質向上を図る為のESGの推進および財務健全性の維持・強化を着実に実行し、更なる企業価値向上に向けて全力で取り組んでまいります。

■今後の車載分野の電装化進展による需要増加に対応するための増産投資完了

希門凱電子(無錫)有限公司(ビルドアップ)

車載分野におけるビルドアップ配線板の需要増加に対応するため、従来比、約20%の生産能力増強投資の実施完了



CMK CORPORATION (THAILAND) CO.,LTD.(両面・多層貫通・ビルドアップ)

パワートレイン・走行安全系などの需要増加に対応するため、従来比、約25%の生産能力増強投資の実施完了



株主のみなさまへ

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を重要政策の一つと認識しており、経営体質の強化と将来の事業展開のための内部留保を確保しつつ、業績や財務状況を勘案した上で、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。

当第2四半期末の中間配当につきましては、業績改善は着実に進んでいるものの、財務体質の強化を図るため、誠に遺憾ではありますが、見送りとさせていただきます。

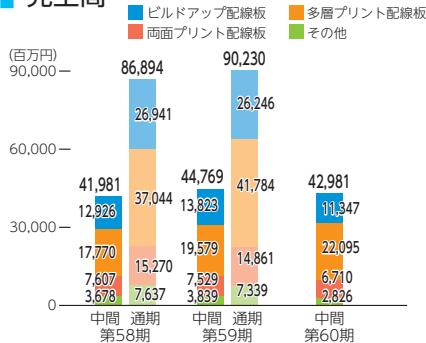
株主のみなさまには、このような決定に至りましたことを深くお詫び申し上げます。

当社グループは、安定的な配当を実施すべく引き続き業務改善と財務体質の強化に全力を挙げてまいります。株主のみなさまにおかれましては、何卒、ご理解とより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

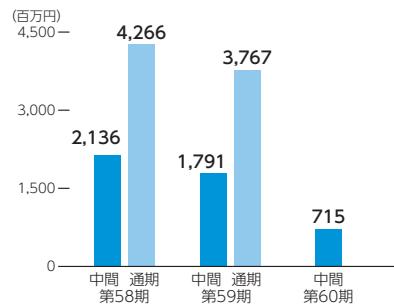
POINT

- 自動車の電装化進展により、車載向けの販売が増加したものの、通信関連機器やアミューズメント等の販売が減少し減収
- 売上高の減少および国内生産工場の稼働率低下の影響などにより減益

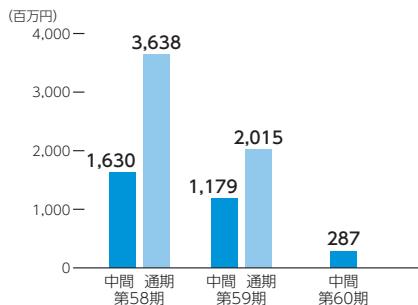
売上高



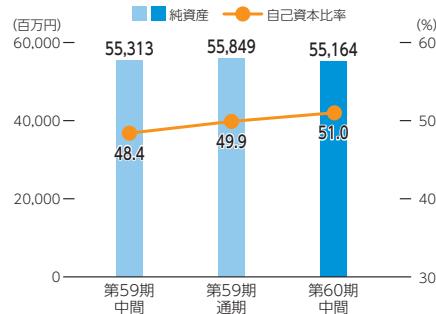
営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



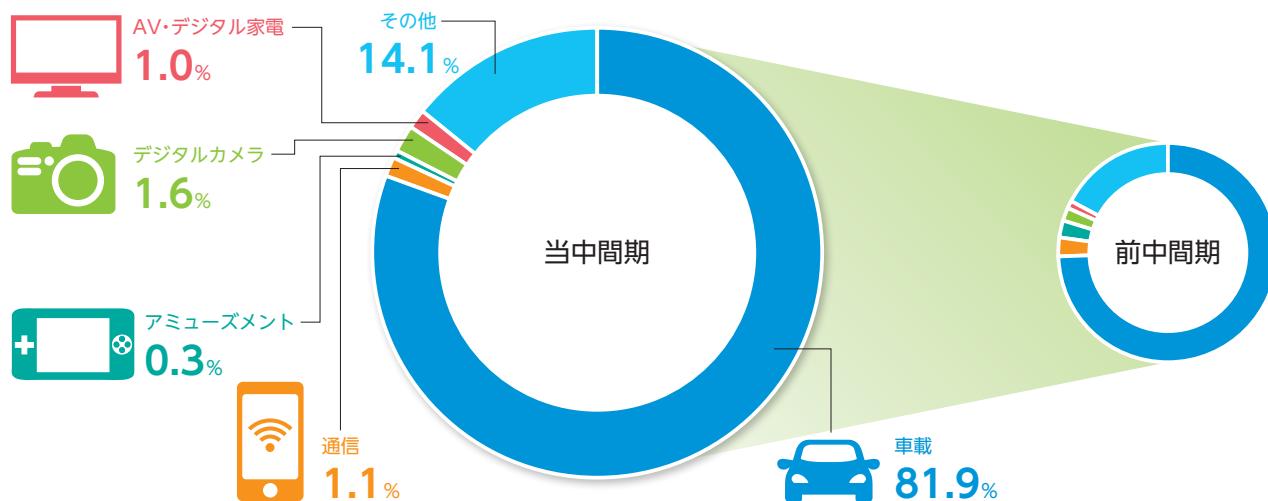
純資産・自己資本比率



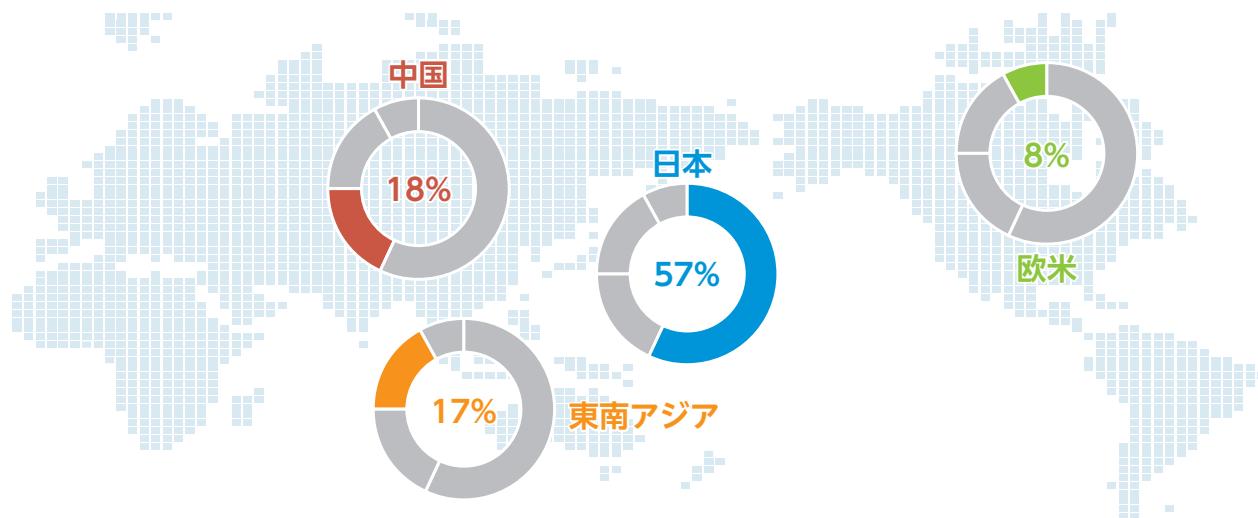
当社グループは、車載向けの販売が増加したものの、通信関連機器やアミューズメント等の販売が減少し、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は429億81百万円(前年同期比4.0%の減収)となりました。

利益面につきましては、売上高の減少および国内生産工場の稼働率低下の影響などにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は7億15百万円(前年同期比60.0%の減益)となりました。また、営業利益の減少に伴い、経常利益は7億79百万円(前年同期比56.8%の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億87百万円(前年同期比75.7%の減益)となりました。

用途別売上高の概況



所在地別売上高の概況



5G通信と車載製品の開発取り組み

当社では、5G通信、ADAS・自動運転、車載通信、車載電動化といった市場要求に沿った開発を進めています。5Gは、「超高速通信」、「多数同時接続」、「超低遅延」などの特徴があり、あらゆるモノ・人などが繋がるIoT (Internet of Things) 時代の新たな基盤としての役割を果たします。

5Gの実現によりコミュニケーションのあり方の変化、そして新たなビジネスの発展に繋がることが期待されています。

【第5世代移動通信システム(5G)】 通信インフラ用途

<5G基地局向け>

5G基地局向けのモジュール基板について、環境整備に向けた製品開発、および量産化を目指し、全社で連携した取り組みを行っています。

【ADAS・自動運転・車載通信】 ADAS ECU、ミリ波レーダー、センシングカメラ、通信モジュール、TCUなど

<ミリ波レーダー・モジュール>

アンテナ回路はアンテナの送受信性能を維持するため、絶縁層の厚み精度や導体回路の仕上がり精度の管理が重要となります。また回路形成は一般的なサブトラクティブ(エッチング法)ではなく、MSAP(パターンめっき法)を用いた、高精度な回路形成技術も含めて開発を行っています。

<車載カメラ・カメラモジュール>

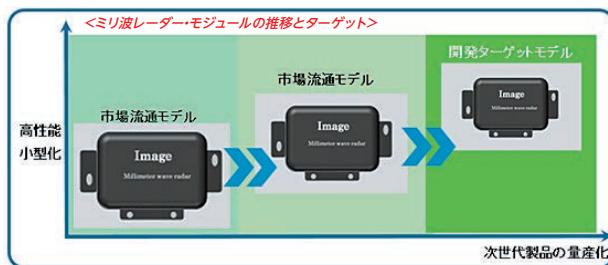
車載カメラシステムはADAS・自動運転技術に欠かすことができないセンサーの一つであり、一般的なビューカメラではなく、センシングカメラが重要な役割を果たします。

これらの車載カメラモジュールにも適用可能な高信頼性リジッド・フレックス配線板の開発を進めています。これは現行の民生用途とは異なり、車載カメラメーカーから要求される信頼性基準をクリアできる仕様となります。現在、基本構造の確立および信頼性の取得まで完了しています。

【電動化】

<高放熱・大電流・高電圧対応>

自動車の電動化に関する開発競争は急激に加速しています。これらの自動車には、多くのパワーデバイスが搭載されており、デバイスを効率よく動作させるためのプリント配線板としては、高放熱、大電流、高電圧といった特性要求に応えるべく、「CMK-COMPシリーズ(金属ベース、金属コア、内層厚銅)」のバージョンアップおよび、高熱伝導特性材料を用いた、新たなプリント配線板の開発を進めています。



名古屋ネプコン2019で新製品提案

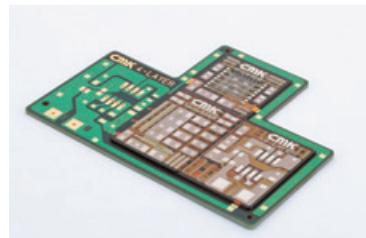
当社はお客様のニーズを収集するため、毎年インターネプコンジャパンに出展しています。

本年の名古屋ネプコン2019では、自動運転の未来へ向けたADASとして、衝突防止センサーやセンシングカメラなどを出展しました。

また、機器の高機能・小型化技術として3D構造の新たな配線板の形態などを提案しました。



当社出展のブース



4層配線板上への3D形成
(4層-7層-10層-14層一体)

会社概要

商 号 日本シイエムケイ株式会社
(証券コード6958 日本CMK)
創 立 1961年(昭和36年)2月25日
資 本 金 223億620万3,140円
従 業 員 数 1,250名(CMKグループ5,011名)
役 員 (2019年10月1日現在)

取締役および監査役		
代表取締役社長	大 澤 功	
専務取締役	黒 沢 明	
執行役員		
取締役執行役員	花 岡 仁 志	
取締役執行役員	白 井 孝 浩	
社外取締役	右 京 強	
社外取締役	佐 藤 り か	
社外取締役	原 口 文 雄	
常勤監査役	小 笠 原 敬	
常勤監査役	小 池 正	
社外監査役	大 高 由 紀 夫	
社外監査役	柿 崎 昭 裕	
執行役員		
上 席 執 行 役 員	萩 原 正 芳	
執 行 役 員	網 本 浩 一	
執 行 役 員	石 坂 嘉 章	
執 行 役 員	河 島 正 紀	
執 行 役 員	栗 山 昌 也	
執 行 役 員	小 林 誠 一	
執 行 役 員	佐 藤 弘 幸	
執 行 役 員	柴 田 栄 造	
執 行 役 員	中 山 明 治	
執 行 役 員	藤 野 敏 和	
執 行 役 員	山 口 喜 久	

主要な連結子会社

国内	
● シイエムケイ・プロダクツ株式会社	● シイエムケイファイナンス株式会社
海外	
● CMK ASIA (PTE.) LTD.	● CMK CORPORATION (THAILAND) CO., LTD.
● 新昇電子(香港)有限公司	● 新昇電子貿易(深圳)有限公司
● 旗利得電子(東莞)有限公司	● 希門凱電子(無錫)有限公司
● CMK EUROPE N.V.	● CMK AMERICA CORPORATION

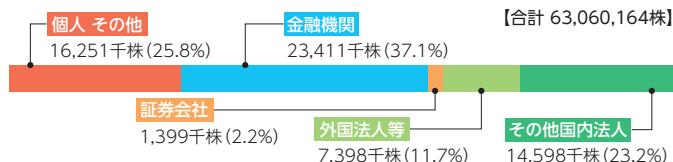
株式の状況

発行可能株式総数 227,922,000株
発行済株式総数 63,060,164株
株 主 数 7,370名
単 元 株 式 数 100株
大株主(上位10名)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,336	7.32
中山 高 広	2,836	4.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,638	4.46
株式会社みずほ銀行	2,576	4.35
一般財団法人電子回路基板技術振興財団	2,500	4.22
株式会社キョウデンエリアネット	2,404	4.06
第一生命保険株式会社	1,895	3.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,891	3.20
橋本 浩	1,890	3.19
中山 明 治	1,886	3.19

(注) 1. 当社は、自己株式3,863,719株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

所有者別 株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告します。 公告掲載の当社ホームページアドレス https://www.cmk-corp.com
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同連絡先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人(みずほ信託銀行)にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買増・買増、配当金受取方法の指定等について
・証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関(日本証券代行)へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

単元未満株式の買増・買取制度のご案内

当社の単元株式数は100株となっておりますので、単元未満株式(100株未満の株式)については市場で売ることができません。

当社では「単元未満株式買増制度」および「単元未満株式買取制度」を設けておりますのでご案内申し上げます。

買増制度 株主様がご所有の単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しをご請求いただける制度です。

買取制度 株主様がご所有の単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる制度です。

具 体 例 株主様が160株をご所有の場合



※当社では、単元未満株式の買増・買取手数料を無料としております。ただし、特別口座以外の口座管理機関(証券会社)でお取引された場合、取次手数料が発生する場合がありますので、詳細はお取引のある証券会社にご確認ください。

お手続きなどの詳細につきましては

[証券会社に口座を開設されている株主様]

口座を開設されている証券会社にお問合せください。

[証券会社に口座を開設されていない株主様(特別口座の株主様)]

日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)にお問合せください。



当社ホームページのご案内

企業情報や製品情報を掲載しております。

<https://www.cmk-corp.com>

CMK

〒163-1388 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号
新宿アイランドタワー43F
電話 03-5323-0231 (大代表)

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

